

## FAQコーナー

こちらの記載内容は令和6年度現在の状況となっています。  
年度により運営方法が変わる場合もあります。将来入学した場合に、この内容と同条件であることを保証するものではありません。

### Q1 SSHとは何ですか。

SSHとはSuper Science High school（スーパーサイエンスハイスクール）の略称で、理数系教育に関する研究開発を行うために文部科学省が指定した高等学校です。日本全国に約200校が指定されています。SSH校は、「将来に国際社会で活躍する優れた科学技術人材」の育成や高大接続のあり方の検討を図るために、財政・設備・制度などの面で支援を受けることができます。

### Q2 SSH校とはいわゆる理数科ですか。

いいえ、戸山高校は普通科の進学指導重点校です。SSH事業の形態や実施方法は全国の各校で様々な方法で取り組まれています。中には理数科等で指定を受けているSSH校もありますが、普通科の高校も多くあります。

### Q3 戸山高校はいつからSSH校なのですか。

東京都立戸山高等学校は平成16年度に、都立高等学校として初めて文科省からスーパーサイエンスハイスクールに指定されました。

第Ⅰ期 平成16年度から平成18年度（3年間）

第Ⅱ期 平成19年度から平成23年度（5年間）

経過措置 平成24年度から平成25年度（2年間）

第Ⅲ期 平成26年度から平成30年度（5年間）

第Ⅳ期 平成31年度から令和5年度（5年間）

令和6年度からは2年間の経過措置期間となっています。

### Q4 全員がSSH対象ですか。

学校がSSHに指定されているので、本校の全員が対象となります。ただし、本校の8クラスのうちSSH講座を受講できるのは2クラスです。この2クラスをSSHクラスと呼びます。他の6クラスの生徒は「知の探究Ⅰ」「知の探究Ⅱ」という探究の時間で、理数系的思考を学びます。

（2ページ目に続きます）

戸山高校のSSHでは、文科系志向の生徒も含め全ての生徒が科学的リテラシー(リテラシー”literacy”とは、最低限必要とされる「素養」のこと)を高めることを目指しています。自分の考えをまとめたり発表したりする能力は、文系・理系を問わず重要なもので論理的思考力の向上のために必要と考えています。

SSH事業では、将来、国際的に活躍できる科学技術人材の育成を目指します。社会の事業では偏った知識・能力だけでは成り立ちません。科学者だけではロケットは飛ばないのです。政治・経済を含め総合力が必要です。クロスカリキュラム(教科横断型学習)を通し、この総合力を育成します。その他、全員を対象として学年ごとにSSH講演会も実施しています。

このように、SSH事業の中には、全生徒が対象となる事業とSSHクラスに特化した事業の2つがあります。

Q5 SSHクラスは理系クラスですか。

SSHクラスは文系科目の授業が減るわけではありませんが、情報の代わりにSSHの授業を行います。理系に重点を置いていることから、理数好きが集まっているクラスです。戸山高校は2年生まで理科も社会もすべて履修するので、クラスによる理系・文系の区分などありません。3年生になれば選択で理系科目や文系科目を多くとることができます。

Q6 SSHクラスについて詳しく教えてください。

SSHクラスを希望する生徒は、入学前のSSH説明会を聞いてもらい、志望動機などを書いた書類を提出してもらいます。その中から審査によって決定します。SSHクラスは1~2クラスです。1学年では「情報I」の代替講座として「SS I」の講座を受講します。「SS I」は数学・物理・化学・生物・地学・情報の中から選択し、データの取得方法や機器の使用法から、身近な自然現象を扱うことで科学的な探究態度を身につけながら、課題研究のテーマを決めて予備実験を行います。科学の不思議さ・楽しさを広める活動も行います。2学年では引き続き「情報I」の代替で「SS II」の講座を受講し、大学の研究室訪問や科学系のコンテストの応募、海外との交流を行いながら、さらにプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を磨き外部での研究発表を目指します。

Q7 戸山高校のSSH講座にはどのようなものがありますか。

1・2年生にはSS I・II(3単位)として数学・物理・化学・生物・地学・情報の6コース、3年生にはSSIII(1単位)が自由選択科目として置かれています。

Q8 SSHはどのようなことをしているのですか。

SSHの取り組みは各校で様々ですが、戸山高校では学校設定科目としてSSH科目を設け、正規の授業の中で「自己学習力」の習得を目指して行っています。「自己学習力」とは興味関心を持ち、課題を自ら見つけて、調べて、確かめて、まとめて、論理的にわかりやすく説明する能力のことです。大学との連携を通して行っています。その他、生徒全員を対象として科学的な講演会や、クロスカリキュラム、理数系部活動の推進などに力を入れています。詳しいSSH行事の様子は、本校のSSHのWebサイトをご覧ください。

Q9 SSH事業とは高度な授業や科学研究をすることですか。

本校のSSHは必ずしも高度な内容ばかりではありません。最先端の刺激は大切ですが、大学や研究機関と連携していますが、高校生の身の丈にあった身近なテーマを扱い、探究の仕方や論理的な思考力を身につけることを大切にしています。また本校のSSH研究開発課題は「進学指導重点校において、SSHを通して世界に通用する科学技術系人材と科学技術を理解した文系の人材を育成する文理融合による総合力に秀でた人材の育成を図る。」ということです。戸山高を含め各SSH校すべての研究開発の実施報告は、JST((独)科学技術振興機構 (Japan Science and Technology Agency))のWebサイトから見るができます。

Q10 SSHクラスに入った人はみな理系大学に進学するのですか。

いいえ、必ずしもそうではありません。科学的、論理的思考を身につけて文系として進路を選んでいく人も多くいます。

Q11 SSHクラスに入ると部活動はできませんか？

「できない」ということはありません。SSHと部活を両立できるかどうかは、入る部活の忙しさにもよりますが、みなさん次第です。SSHクラスでは、授業の一部として土日や夏季休業中などに講演会や実習などが行われます。また、課題研究のための資料収集やレポートまとめ、発表準備などで放課後を利用することもあります。こうした状況であることを考慮に入れて、SSH、部活のどちらも中途半端になってしまわないように、入部するかどうか、またどういった部活に入るか考えてみてください。

Q12 SSHクラスに入らなくてもSSHには参加できますか？

科学系の部活や同好会（天文気象部、化学部、生物部、物理同好会）は、校内でのSSH（4ページ目に続きます）

行事やSSH発表会などに参加しています。また、地学基礎の授業内での「城ヶ島地質巡検」もSSH事業です。図書館のSSHコーナーは生徒なら誰でも利用できます。

Q13 SSH クラスに入ったら事実上、3年間はクラス替え無しということになりますか？

SSHクラスの2クラス中で入れ替わる可能性はありますが、戸山高校は2年生から3年生になるときはクラス替えしないことから、3年間SSHクラスとなります。

Q14 国際交流する機会がありますか？

韓国、台湾、タイの学校と対面、オンラインでの研究交流を行っています。また海外研修で現地校と研究交流を行います。